

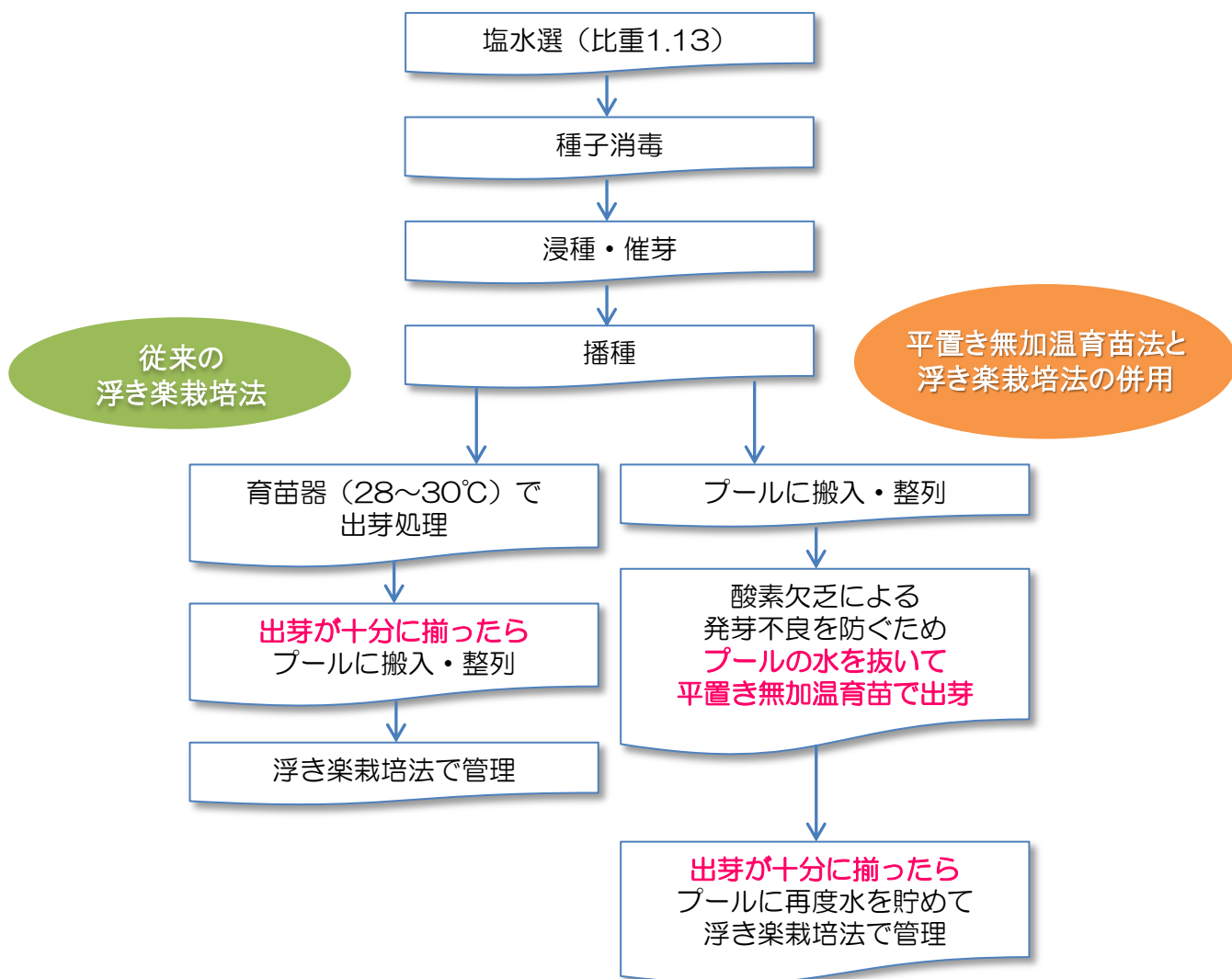
平置き無加温育苗法を併用した浮き楽栽培法による水稻育苗

農業技術センターでは、これまでに、水稻育苗管理作業を省力化する技術として、浮き楽栽培法を開発し、県内外の農業者から多くの反響をいただきました。

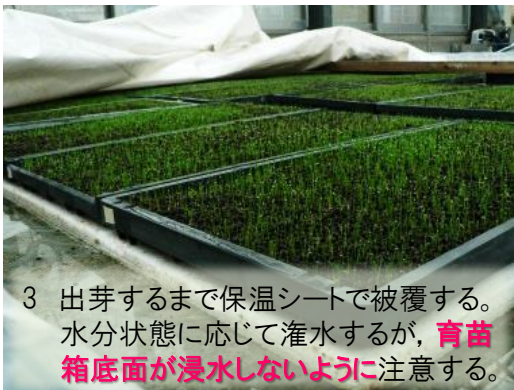
中でも、育苗器を使用せずに育苗ハウス内で出芽させ、浮き楽栽培法により管理する方法の可能性についての問合せがたくさんありました。

そこで、浮き楽栽培法のメリットを生かし、平置き無加温育苗法を併用した水稻育苗について実証試験を行い、その手順をまとめましたので、今後の参考にしてください。

従来の浮き楽栽培法と平置き無加温育苗法を併用した場合の作業工程



方法



結果

表1 平置き無加温育苗法を併用した浮き楽栽培法による水稻苗の成長

出芽後の管理方法	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	SPAD	生体重 (g/100本)	乾物重 (g/100本)
浮き楽栽培法 ¹⁾	2.2	12.8	27.8	5.9	1.1
頭上灌水 ²⁾	2.1	12.3	27.8	5.5	1.1

※供試品種はコシヒカリ。培地はくみあい宇部粒状培土2号を使用。

※4月11～16日に浸種し、4月17日に播種。5月7日調査。

¹⁾フロートに搭載してプールに搬入し、整列後直ちにプール水を抜き、保温シートで被覆して管理。

4月23日にほぼ出芽が揃ったので、保温シートを除去し、プールに水をためて、浮き楽状態で管理。

²⁾フロートに搭載してプールに搬入し、整列後直ちにプール水を抜き、保温シートで被覆して管理。

4月23日にほぼ出芽が揃ったので、保温シートを除去し、頭上灌水で管理。

備考および留意点

- 平置き無加温育苗法を併用した浮き楽栽培法で育苗した苗は，頭上灌水管理で育苗した苗と同等以上の苗質が得られます(表1)。
- 平置き無加温育苗法で発芽させると，育苗器への搬入出作業が不要となるため，さらなる省力化を図ることができます。
- 播種した育苗箱をプールに整列させた後，酸素欠乏による発芽不良を防ぐため，**必ずプールの水をしっかり抜いて**発芽させます。
- **気温に応じ，保温シートの開閉が必要であり**，育苗器と比較して，出芽までの日数がかかることなどの問題点もあります。